

# 「放射能汚染地図の“これまで”と“これから”」

木村真三さん 講演会

2015年 4月25日 (土) 13:30~16:30 13:00開場 参加費無料

仙台市市民活動サポートセンター 6F セミナーホール (仙台市青葉区一番町4丁目1-3)

主催：日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ

連絡先：TEL/FAX 022-796-5272 E-mail [izumi@tohoku.uccj.jp](mailto:izumi@tohoku.uccj.jp) <http://tohoku.uccj.jp/izumi/>



「3・11」後の3年間の活動で、これから日本の社会を変えてくれそうな人たち、希望を託せる人たちと出会った。それは、行動力・生命力に富む女性たちや、痛みのわかる医者や看護師を目指す学生、地方に住む若者たち、そして、未来を築く子どもたちだ。自身の判断で行動に移せる人たちを、経験豊かなお年寄りと一緒に、もっと支えていきたい。そのためにも、私は福島の人々とともに生きていく。これからも福島の人々とともに本当の意味での復興を成し遂げていきたい。決してあきらめず、前向きに。

木村真三著『「放射能汚染地図」の今』より

2014/11/1 飯舘村関根地区「仮置き場」

木村真三 (きむらしんぞう) さんプロフィール

1967年愛媛県生まれ。放射線衛生学者。

2000年、北海道大学より博士号(地球環境科学)取得。

放射線医学総合研究所、労働安全衛生総合研究所を経て、2011年8月より獨協医科大学准教授、同大国際疫学研究室長。

チェルノブイリ原発事故被災地ウクライナにおける健康調査の功績から、ジトーミル国立農業生態学大学より名誉教授号を授与される。

1999年9月東海村JCO臨界事故の経験から、福島第一原発事故直後に現地入りして放射線量測定、サンプル採取を実施。

汚染の実態を明らかにし、その様子が2011年5月のNHK ETV特集『ネットワークでつくる放射能汚染地図』で放映され、反響を呼んだ。

2013年より福島県二本松市在住。